
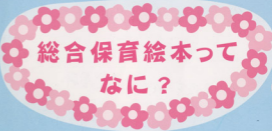


- 
- Q.1 総合保育絵本って、なに？
 - Q.2 総合保育絵本は、どうして必要なの？
 - Q.3 園で決めた絵本、どうしてとらなくちゃいけないの？
 - Q.4 なぜ『月刊』なの？
 - Q.5 なぜ、同じ絵本をみんなでも必要があるの？
 - Q.6 どうしてこんなに値段が安いなの？
 - Q.7 絵本にシールをほらせるのは、どうして？
 - Q.8 絵や写真だけのページって、どう読めばいいの？
 - Q.9 総合保育絵本はワークブックなの？
 - Q.10 園ではどんなふうに使っているの？
 - Q.11 持ち帰った絵本、家庭ではどうしたらいいの？
 - Q.12 どんどん増える絵本、どう処分すればいいの？
 - Q.13 読み聞かせの基本的なやり方、教えて！
 - Q.14 絵本はいつ読めばいいの？
 - Q.15 読み聞かせは、どんなスタイルですればいいの？



総合保育絵本って なに？

総合保育絵本がわかる15のQ&A

文京学院大学・自正大学講師
産話作家

わたなべ めぐみ

Child
チャイルド本社


新巻100円（税込）



まえがき

ロングセラーと呼ばれる絵本があります。初版から何十年もの間、たくさん子どもたちに読み継がれてきた名作ともいえる絵本です。『総合保育絵本』も、何十年もの間、幼稚園や保育園で愛され続けてきたロングセラー絵本です。しかし、普通の絵本とは形式も内容も楽しみ方もちょっと違うため、「絵本ではない」と誤解されたり、「読み方がわからない」という声も聞かれます。とくに保護者の方には、なぜ必要なのか、どんな効果があるのかわかりにくいようです。そこで『総合保育絵本』に関する疑問を15のQ & Aにまとめてみました。

『総合保育絵本』は、幼稚園や保育園で、保育者と子どもたちがいっしょに読み、考えたり、話し合ったり、調べたり、実際にやってみたりするための“知的好奇心の種”です。読むだけではない絵本の魅力を、子どもといっしょに、ぜひ体験してみてください。





ANSWER

子どもにさまざまな情報を提供してくれる知育絵本です

総合保育絵本は『総合的な内容を取り上げた、保育で保育に活用するために作られています。普通の絵本や効果に注目しましょう。

のための絵本』。読むだけでなく、幼稚園や保育園と比較するのではなく、総合保育絵本自体のねらい

ポイント1

タイムリーな情報を選択できる

1冊の中にいろいろな内容が入っているのは、保育の基本である5領域（人間関係・環境・自然・言葉・表現）を満たすため。保育者は、その中から、子どもたちの興味や保育のねらいに合ったタイムリーな情報を選ぶことができます。

ポイント2

考える力を育てる

総合保育絵本は、考えるきっかけを提供する本。「へえ、そうなんだ」と興味を持ったり、「えっ、本当？」と疑問を感じることで好奇心や想像力をふくらませ、考えたり、調べたり、試したりする活動に発展します。

ポイント3

コミュニケーション力を育てる

読むだけでなく、みんなで話し合ったり、いっしょに調べたり、実際にやってみたりする中で、コミュニケーション力を育てることができます。





ANSWER

毎日の保育に使う教材だからです！

園で選ばれ購読が決められているのは、絵本が毎日本を読みながら、考えたことを話し合ったり、疑問たり、いっしょに物語を楽しんだりして、毎日の保育から別の活動につなげていくこともあります。子ども育に活用するのかわによって、選ぶ絵本も違ってきます。

の保育に使う教材だからです。保育者と子どもが絵に思ったことを確かめたり、身近なことを再発見し活動に生かしていきます。読むだけでなく、そこかの年齢や、どんな活動をするのか、どんなふうを保だから園で決めているのです。

ポイント1

活用の仕方に注目しましょう

「決められたから、とらなくてはいけない」とマイナスにとらえるのではなく、なぜその絵本が選ばれたのか、どのように活用されているのかわに注目しましょう。



ポイント2

子どもの興味を広げるチャンスです

子どもの興味には個人差があるため「せっかくとるなら、子どもが興味を持つ絵本がよい」と思うかもしれませんが、でも、普段選ばない絵本の中に、新しい出会いがあるかもしれません。興味の幅を広げるチャンスと考えましょう。



月刊絵本は、毎月届くプレゼントです

月刊絵本が月ごとに届けられるのには理由があり、絵本を待つ楽しみや絵本が届く喜びだけでなく「今度、がっていくからです。子どもの発達段階に合わせた

ます。自分宛てに定期的に絵本が届くという環境は、「どんな本かなあ」という絵本自体への興味につながる内容にできるのも、月刊ならではの楽しみです。

ポイント1

季節感を届けられます

日本は四季がある国です。が、住んでいる地域や環境によっては、季節の変化や自然の恵みに触れる機会が少なくなっています。絵本は、子どもたちに季節感を届けてくれるのです。

ポイント2

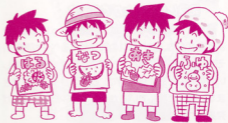
タイムリーな話題を提供します

1年を12の月で区切ることで、同じ春でも、3月と4月は違うことを教えてくれます。その月ならではの行事の由来や、地方によって違う風習なども取り上げられていて、興味が広がります。

ポイント3

発達段階に合わせることが出来ます

子どもの発達は著しいため、年齢ではなく月齢で判断することが大切です。4月には4月の、5月には5月の発達段階に合わせた内容が必要なのです。月刊だからこそ、現在進行形の子どもたちの興味に対応できるのです。





ANSWER

子どもには「自分だけの絵本」が必要なのです！

たしかに1冊あればみんなで読めるのに、わざわざないと思うかもしれませんが、でも、総合保育絵本は「自分だけの絵本」を持っていることが必要なのです。

ポイント1

自分のペースで読むことができます

絵本の楽しみ方には個人差があります。1つのページをじっくり見たい子もいれば、先に進みたい子もいます。前のページに戻って見直したい子もいるのです。同じ絵本を1冊ずつ持っていれば、自分の興味やペースでじっくり読むことができます。

ポイント2

発見し合うことができます

同じ絵本を持っていれば、友達といっしょにながよくなって、それぞれの興味があるページをそれぞれの読み方で楽しむことができます。そして新しい発見をしたら「見て見て」と教え合うことができます。個々に読んでいるからこそ、子どもの個性が発揮されるのです。

同じ絵本をひとり1冊ずつ購読するなんてもったい保育活動で使う教材なので、子ども一人ひとりが

ポイント3

仲間意識も育ちます

子どもは「おんなじ」が好きです。共通点は仲間のしるしだからです。「おんなじだね」と絵本を見せ合ったり、同じページをつなげて「いっぱいになったね」と楽しむ中で、コミュニケーション力も育ちます。





ANSWER

低価格には 工夫があります

総合保育絵本の値段は、市販の絵本の3分の1程度。ようですが、値段が安いにはちゃんとした理由が

「安いのは、質が悪いからでは…」と疑う人もいます。値段ではなく、中身に注目しましょう。

ポイント1

年間購読の予約販売だからです

年間購読の予約販売なので、あらかじめ部数が決まっています。余分に作りすぎて余ったり、返本もないためおだがないのです。

ポイント2

産地直送！?だからです

総合保育絵本は書店に並ばず、作った出版社から園に直接届けられます。つまり産地直送というわけです。仲介がないので、余分な送料や保管料がかかりません。その分、定価を低くおさえられるのです。



ポイント3

外見より中身にこだわっています

製本を簡易化してソフトカバーにすることで、コストを下げています。大切なのは内容であって、本の外見ではないからです。ソフトカバーは絵本自体が軽量なので、幼児には扱いやすいという利点もあります。おだを省いた分、中身に力を入れています。本作りに関わったすべての人の名前がきちんと書かれているのが証拠です。それが内容に責任を持っているというしるしだからです。

うらもみ々々!



編集 / 田中太郎
発行所 / エフエ社
デザイン / 藤子ゆい
写真 / 中村かめら
イラスト / 山田花絵



ANSWER

シールは絵本に参加するための必須アイテムです

総合保育絵本に初めてシールが登場したときには、ムがあったそうです。でも、総合保育絵本についても絵本に参加するための必須アイテムなのです。

保育者からも「おもちゃなんかつけて…」とクレー
いるシールは、ただのシールではありません。子

ポイント1

シールは魔法のかけらです

シールのページをよく見ると、絵が未完成です。子どもたちがシールをはることで完成するようになっているからです。シールという魔法のかけらを、自分の手ではることで、世界に1つだけのオリジナルの絵本を完成させることができるのです。

ポイント2

個性と想像力を育てます

シールのはり方には個性が出ます。なかなかはらずに考えている子、はったりはがしたりする子、さっさとはり終えて台紙であそぶ子…。シールをはるという簡単な遊びの中で、子どもたちは個性と想像力をふくらませていきます。

ポイント3

考えることが大切です

大人はつい、きれいにはることにこだわりがち。でも大事なのは、どのシールをどこにはるかを考えることです。試行錯誤することも大切な経験なのです。





ANSWER

たった1枚の絵だからこそ、想像力がわくこともあります

総合保育給本の中には、たくさんの絵や写真が
 すぐするための絵や、真実をありのまま伝えるため
 とる楽しみもあります。それが想像力です。たった
 1枚の絵だからこそ、自由に想像を広げていけるこ
 ともあるのです。

ポイント1

コミュニケーションを楽しもう

絵や写真だけのページにも、物語はあります。た
 だそれは文字では書かれていません。絵の中にかく
 されているのです。それを言葉で読みとってみま
 しょう。自分が見たこと、感じたことを言葉にすれば
 いいのです。「ここはどこかな?」「お花、きれい
 だね」などと会話を楽しむことで、想像力が育っ
 ていきます。



あります。子どもたちに伝えたい情報を、わかりや
 の写真です。でも、そこから自分だけの情報を読み
 1枚の絵だからこそ、自由に想像を広げていけるこ
 ともあるのです。

ポイント2

絵本は小さな美術館

絵や写真を見ていると、物語やテーマとは直接関
 係ない部分が目についたり、文章には書かれていな
 いストーリーが見えることがあります。1冊の本、
 1つの場面の中に、いくつもの絵や物語がかれて
 います。それを見つけることを楽しみましょう。



遊びながら学ぶためのガイドブックです

たしかに、文字や言葉、数や形や色の概念など、お勉強教材書とは違います。知識を押しつけて、無理に覚えさせたり、言葉遊び、まちがいがしや迷路などの遊びのくように工夫されています。つまり、遊びながら学ぶ

的要素も取り上げられています。でも、ワークブックやさせたり、理解度をテストするものではありません。クイ要素を取り入れて、楽しみながら興味や関心を高めていたためのガイドブックなのです。

ポイント1

遊ぶと学ぶは同意語です

遊ぶことと学ぶことは、反対のイメージがありません。が、子どもたちは遊びながらいろいろなことを学んでいきます。楽しいからこそ、興味や関心を持ち、疑問を見つけ、試したり考えたり調べたりして答えを探していきます。それが学ぶということなのです。



ポイント2

好奇心を刺激するヒントになります

例えば、絵本の中で言葉遊びを楽しんだら、言葉に対する興味が高まり、オリジナルの言葉遊びを作りたいかもしれません。絵本で学んだことがヒントになって、新たな遊びが生まれ、それがまた次の学びにつながっていくのです。





ANSWER

園ではこんなふうに使っています！

総合保育絵本は、1冊の中に自然・しつけ・工作
ます。それは幼稚園・保育園のカリキュラムの基礎
わせてあるからです。保育者は、子どもたちの発達段階
していきます。

ポイント1

少しずつ読みすすめます

いろいろなジャンルは、毎日少しずつ楽しみます。
今日はシール、次のときは生活習慣のページ、また
次のときは自然、という具合に分けて読むことで、
一つひとつのジャンルにじっくりと取り組むことが
できます。

ポイント2

考える楽しさを味わいます

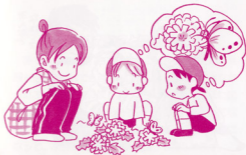
読むだけでなく、気づいたこと、考えたこと、疑
問に思ったことなどを、みんなで話し合うことを楽
しみます。「へえ、おもしろいね」「本当かな？」
などと会話をすることで、好奇心や想像力をふくら
ませていきます。

・シール・歌など、いろいろなジャンルが入ってい
である幼稚園教育要領や保育所保育指針の内容に合
や興味、保育のねらいに合わせて、毎日の保育に活用

ポイント3

活動のきっかけにします

例えば、絵本でたんぼほについて読んだあと「園
のまわりでは、もう咲いているかな」と、たんぼほ
探しに出かけていくなど、絵本をきっかけにして実
際の活動につなげていきます。





ANSWER

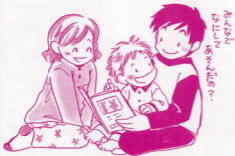
家庭では、こんなふう に楽しみましょう

総合保育絵本の楽しみ方は読むだけではありません。だから、家庭でもいろいろな楽しみ方を見つけてみましょう。毎月、持ち帰りが待ち遠しくなるかもしれません。

ポイント1

園での様子を聞いてみよう

持ち帰った絵本をいっしょに見ながら「どこがいちばんおもしろかった？」とか「先生やお友達と何をしたの？」など、コミュニケーションを楽しみましょう。子どもが興味を持ったことや、園での様子を知ることができます。



みんなが
なにを
おもしろい？

ポイント2

もう一度やってみよう

園で実際にやった活動を、家庭でもやってみましょう。子どもが“先生”です。「これを作るんだよ」「公園に探しにいったんだよ」など、実際にやってみる中で、園でやったときとは違う新しい発見があるかもしれません。

ポイント3

園ではできないことに挑戦しよう

園では、本に紹介されていることをすべて活動に発展させることはできません。そんな、園ではできなかったことをやってみましょう。子どもといっしょに絵本を読みながら「これ、おもしろそう。でもやってない」ということを探し出します。絵本が共通の話題になって、家族のコミュニケーションも楽しめます。

ANSWER

いろいろな活用法を考えましょう

毎月持ち帰る総合保育絵本。「どんどん増えて、たら、子どもが怒った」「古くなって、ページがバラの声をよく聞きます。たしかに総合保育絵本は、園で困ることもあるでしょう。でも、子どもたちにとっては、子どもの気持ちを無視して処分してはいけません。親子で活用法を考えましょう。

ポイント1

丸ごと保存大作戦

スペースが許すなら、全冊保存するのが理想的。特集ページは、小学校にいったから役立つこともあります。



ポイント2

ファイルで保存大作戦

思いきってバラバラにして、とっておきたいページだけを市販のファイルにまとめます。ジャンル別に分ければわが家特製昆虫図鑑やお話特集の完成です。表紙は子どもに描いてもらいましょう。

置き場所に困る」「読んでいないので知人にあげバラになっているんだけど、捨てられない」など使う目的で作られているので、家庭では取り扱いには、大好きな先生やお友達と楽しんだ大切な絵本せん。とっておくと役立つ情報もたくさんあります。

ポイント3

切ってはって作品作り

お気に入りの絵を切り抜いてはり合わせ、コラージュにしたり、額に入れて飾ります。子どものアルバムや装飾に使えば、記念として残すこともできます。



読み聞かせの基本的なやり方、教えて！

ANSWER

絵本は「読み合う」ことが大切です！

読み聞かせとは「文字が読めない子どものために、といわれています。でも、ただ一方的に読んで聞かっしよに絵本を読み合って、会話を楽しみ、心を

大人が代わりに、絵本や物語を読んで聞かせること」させるだけでは、本当の読み聞かせとはいえません。適じ合わせる大切です。

ポイント1

自分の声で読みましょう

読み聞かせの基本は、子どもの目の前で、自分の声で読むことです。信頼している人が、目の前で読んでくれるからこそ、安心してお話に集中できます。読み手の声の調子や表情からも、お話を読みとります。

ポイント2

子どもの反応を見ながら読みましょう

読み聞かせに不慣れだと、文字を読むことに気をとられて、子どもの反応を見落としがちです。子どもがじっくりと絵を見られるように、ゆとりを持ってページをめくったり、子どもが疑問を持ったり、質問があるか否かを表情や反応から読み取りながらすすめましょう。

ポイント3

コミュニケーションを楽しみましょう

感動して心が動くと、子どもは声をあげます。歓声や質問もとび出します。そんなときは答えてあげましょう。コミュニケーションを楽しむことが大切です。





ANSWER

いろいろなタイミングで読んでみましょう

読み聞かせは、夜寝る前や起床前にするものというからその時間でぴったりですが、わくわくドキドキする像力がふくらみます。絵本の内容やその日の気分に合わせてみましょう。

ポイント1

子どもが絵本に興味を持ったとき

子どもが絵本を運んできたなら、それは「読んで」というサインです。喜んで受け取りましょう。運ぶことを楽しんでいることもあります。それも読み聞かせの第一歩。コミュニケーションを楽しみましょう。



イメージがあります。静かな落ち着いた内容の絵本のようなお話は、居間の活動的な時間に読むほうがかわせて、いろいろなタイミングで読み聞かせを試し

ポイント2

子どもがぐずって甘えてきたとき

いそがしいときにぐざれると、ついイライラしがち。そんなときこそ“絵本でよしよし”してあげましょう。気分転換にぴったり。イライラ解消にもなります。

ポイント3

『何もしたくないなあ』と思ったとき

なぜかやる気が出ないときは、絵本を読んでのんびりしましょう。楽しい話を読めば、元気が出ます。

ポイント4

待ち時間や静かにしてほしいとき

退屈のぎになるだけでなく、小さな声で静かに読むことで、気持ちを落ち着かせる効果があります。

読み聞かせは、どんなスタイルですればいいの？

ANSWER

自由なスタイルで楽しみましょう

読み聞かせの時間は、親子のリラックスタイム。たりと楽しめるスタイルを探してみましょう。

ポイント1

小さいころはひざの上で

0・1・2歳の子どものひとりの場合は、ひざの上に抱くと、スキンシップも楽しめます。体を支えられるように、背もたれのあるいすやソファに座ると疲れません。

ポイント2

ながよく、ならんで

大きい子どもをひざに抱くと、子どもの頭が邪魔になって、絵本が読みにくい場合があります。3歳以上は、ならんで読むのがおすすめです。子どもがふたりなら、大人をはさんで左右にならべば読みやすいです。



読む場所や座り方に決まりはありません。絵本をゆっ

ポイント3

寝ころんでリラックス

あお向け、うつぶせ、横向きなど、ごろごろしながらの読み聞かせも楽しいものです。親子で寝ころんでもいいし、子どもだけ寝ころんで、大人は座ってもよし。絵本がちゃんと見えるように気をつけましょう。

ポイント4

みんなで読むときは…

子どもが3人以上になったら、子どもをならんで座らせて、大人が前で絵本を広げましょう。幼稚園や保育園など、集団で読み聞かせをするときと同じ方法です。



著者紹介

わたなべ めぐみ



童話作家・文京学院大学人間学部保育科、及び立正大学社会福祉学部人間福祉学科講師。童話創作と絵本研究をしながら、保育士として絵本を活用する保育活動を長年実践。著書に『絵本であそぶ12か月/行事に生かす絵本ガイド』『月刊絵本Q&A101』『昔話で楽しむ劇あそび』（チャイルド本社）、『保護者との話し方』（ひかりのくに）、『ちょっとずつ変化の壁面構成』（草土文化）、『よわむしおばけ』シリーズ（理論社）、『ヤマガタはかせの昆虫事件簿』シリーズ（草土文化）などがある。



「総合保育絵本ってなに？」

2009年12月1日 第二刷発行 頒価100円（税込）
著者 わたなべめぐみ/絵 いわいざこまゆ/レイアウト ひだあみ
発行人 浅香俊二
発行所 株式会社チャイルド本社
〒112-8512 東京都文京区小石川5-24-21
電話 03-3813-2141（営業）
03-3813-3785（編集）
印刷所 読書印刷株式会社

万一、乱丁がある場合はお取り替えます。本書の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き禁じられています。

© Megumi Watanabe 2009 Printed in Japan